

岩手県議会議員

神崎浩之

県政報告

2023年・春

2月 一般質問で知事に質問

【ご挨拶】令和5年度 がスタート！ <コロナ克服> <物価高騰> <人口減少> への 挑戦

この一年の議員活動として、まずは、昨年3月に一関を襲った「福島県沖地震被害への復旧」があります。当初、岩手県の民間商店等への国の復旧事業は、その対象とされなかったのであります。国に働きかけ、福島、宮城に追加し、9月にやっと、岩手一関も「被災施設の復旧・整備（グループ補助金）」の対象（4億6千万円）となりました。

さらに「7月の豪雨」により、花泉や藤沢では、堤防越水・溢水等による家屋・農地等の浸水被害が発生しました。復旧方法等について難航しましたが、春からの営農作業に支障がないようすすめております。

この間、新型コロナの感染対策や、中小事業者への経済支援をはじめ、エネルギー・物価高騰対策等を県議会の場で要請し、さらに大臣、省庁、自民党本部へ働きかけのため上京し、政府の12月補正予算と令和5年度予算に反映されております。



7月の豪雨被害／花泉町の金流川・藤沢町大籠の土砂崩れ 一関市からの要望



令和5年度 主な県政トピックス

令和5年3月11日	東日本大震災津波、岩手県・大槌町合同追悼式
4月1日	いわて盛岡ボールパークオープン
6月4日	「第73回全国植樹祭」陸前高田市
9月3日	知事・県議会議員選挙
令和5年～令和8年	「県政150周年記念期間」様々な記念事業を開催
令和6年1月～3月	『冬季観光キャンペーン』JR東日本と連携



県と盛岡市と共同建設 岩手山をのぞむ「きたぎん ボールパーク」

令和4年度 岩手県一般会計第9号補正予算

1. 岩手県原油価格・物価高騰対策について

- コロナ禍における原油価格・物価高騰などへの対策として、生活困窮者及び子育て世帯支援をはじめとした生活者支援、中小企業者や農林水産業者、運輸・交通事業者等への幅広い事業者支援を実施。
- 予算総額：15,824百万円



助産師さんから「産後ケア」について

(1) 主な事業について

1 中小企業者等事業継続緊急支援金支給事業費 2,075百万円

原油・物価高騰の影響を受ける中小企業者等に対して1者あたり15万円または7.5万円の支援金を支給

- 【支給要件】
- ① 令和4年10月から令和5年3月までの期間のうち、いずれか1か月の売上が過去3年間の中の任意の年の同月比で20%以上減少していること
 - ② 上記①で確認された令和4年10月から令和5年3月までの売上が減少した単月に、事業のために支払ったエネルギー等の単価が前年同月の単価と比例して増加していること
 - ③ 支援金の給付を受けた後も、事業を継続する意思があること

【支給金額】 法人：15万円・個人：7.5万円

【支給対象】 20,360事業者

※対象業種：建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食業、その他サービス業等



「製造業・建設業」から声を

2 バス事業者運行支援緊急対策交付金 22百万円【補正後現計 47百万円】

乗合バス事業者に対して、燃料費高騰の影響を緩和し事業継続を支援するため、1台あたり4万円を追加で支給

3 タクシー事業者運行支援緊急対策交付金 41百万円【補正後現計 62百万円】

タクシー事業者に対して、燃料費高騰の影響を緩和し事業継続を支援するため、1台あたり2万円を追加で支援

4 貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 25百万円【補正後現計 51百万円】

貸切バス事業者に対して、燃料費高騰の影響を緩和し事業継続を支援するため、1台あたり4万円を追加で支援

5 運輸事業者運行支援緊急対策費 285百万円【補正後現計 614百万円】

貨物自動車運送事業者に対して、燃料費高騰の影響を緩和し事業継続を支援するため、1台あたり2.3万円を追加で支援

6 配合飼料価格安定緊急対策費補助 328百万円【補正後現計 691百万円】

配合飼料の価格高騰による畜産農家等の負担を軽減するため、配合飼料の購入に要する経費を補助

(2) 学校施設、指定管理者施設関連の光熱水費増加分 (502百万円)

2. 通常分

(1) 国経済対策対応分の主な事業：5,964百万円

1 2023年に行くべき岩手推進事業費 100百万円

NYタイムズの「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市がリスト入りした反響を活かした、外国人観光客の誘客・周遊促進に要する経費

2 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業費補助 1,500百万円

県産鶏肉の輸出拡大を図るための国際的な衛生基準を満たす食鳥処理施設整備に要する経費

3 強い農業づくり交付金 1,100百万円

共同利用施設の整備及び高収益な作物・栽培体系への転換の取組支援に要する経費



飼料高騰で「畜産業」を支援



県農業研究センターによる
スマート農業の研究（きゅうり）

令和5年度 岩手県一般会計予算

総額 7,714億円 令和5年度 当初予算案可決



県議会・2月定例会は、3月23日に本会議を開き、「人口減少対策」を最重要課題とされ、第2子以降の保育料無償化など、7,714億円が提案されました。

予算審査にあたり、我が自民党は「少子化対策が不十分、より一層の強化が必要」として、2009年以来となる「編成替え」の動議を提出しました。

深夜に及ぶ議論を経た結果、当局提案が賛成多数で可決されました。



令和5年度 一般会計予算における 主な取組み

ポイント

復興を着実に進めるとともに、人口減少対策を最優先に掲げ、第2期アクションプランのもと「自然減・社会減対策」、「GX」、「DX」、「安全・安心」の4つの重点事項を強力に推進し、新型コロナウイルス感染症対策等に万全を期す。

4つの重点事項

1 自然減・社会減対策

R4：201億円→R5：217億円

コロナ禍での地方への意識の高まり、多様な働き方の拡大を背景に、

- 男女がともに活躍できる環境の整備
- ライフステージに応じた支援
- 移住・定住の促進

2 GXの推進 R4：64億円→R5：120億円

岩手の優れた自然環境を生かし、

- カーボンニュートラル
- 地球温暖化への適応
- 地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長

3 DXの推進 R4：34億円→R5：44億円

岩手県DX推進計画に基づき、

- 行政、産業、社会
- 暮らしのDX、DXを支える基盤整備
- DXによる地域課題の解決

4 安全・安心な地域づくり

R4：649億円→R5：680億円

東日本大地震津波やコロナ対策の経験を踏まえ、

- 今後起こり得る最大クラスの地震
- 津波や大規模災害への対応
- 安全・安心な地域社会の構築



養殖する魚の排泄物を肥料にしてレタスを育てる新しい循環型農業（大船渡市）

事業内容

保健福祉部	新	保育料無償化事業費 464百万円	第2子以降の保育料等の無償化を実施する市町村に対し補助
	新	在宅育児支援金 104百万円	第2子以降の生後2か月から3歳未満の子を在宅で育児する世帯へ支援金を支給する市町村に対し補助
	拡	子ども、妊産婦医療助成金 559百万円	医療費の自己負担分を助成する市町村に対し補助を行い、子育て世帯等の医療費負担を軽減
	新	出産・子育て応援事業費 967百万円	市町村が実施する、妊婦や子育て家庭に対する伴走型相談支援及び経済的支援（妊娠時5万円、出産時5万円相当）に要する経費に対し補助
生活環境部	新	EV等普及促進事業費 104百万円	運輸部門の取組を推進するため、タクシー・バス等のEV、PHVの導入に対して補助を実施
県土整備部	新	道路環境改善事業費 12,944百万円	道路ネットワークを確保するため、橋りょうの耐震化等の道路防災対策、歩道や道の駅等の整備、橋りょう等の道路施設の修繕等を実施
	新	地域連携動労整備事業 5,633百万円	災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路などの整備を実施
水産部	拡	鳥獣被害防止総合対策事業費 337百万円	野生鳥獣による農作物被害防止対策を強化するため有害捕獲などの被害防止活動への支援や広域捕獲活動を実施
教育委員会	拡	ネットワーク共創事業費 19百万円	外部人材の活用による高校及び地域の「魅力化」の取組支援、情報発信等の実施、地域等関係機関との協働を円滑に進めるための地域連携コーディネータの配置
	新	高校奨学事業費（大学等進学支援） 26百万円	経済的な理由により進学を断念しないよう、高校等進学を希望する高校生に対し、奨学金を貸与
	拡	中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業費補助 450百万円	「いわて中小企業事業継続支援センター会議」の運営
商工労働観光部	新	いわてとつながろう働く魅力発信事業費 44百万円	高校生・大学生の地元定着やU・Iターン促進のため、就職情報サイト内に岩手で働く魅力・価値を紹介するコンテンツを新設するとともに就職情報誌の発行を実施
	新	いわての新しい観光推進体制整備事業費 49百万円	観光で稼ぎ、潤う地域づくりを進めるため、データ分析やマーケティングを活用した観光コンテンツの造成や、戦略的にプロモーションを行う体制を整備
振興部	拡	いわてでデジタル化推進費 52百万円	行政DX等の推進を図るため、庁内にCIO補佐官など有識者を設置するとともに、市町村などにおけるデータ利活用のモデル構築やオープンデータ活用に向けた取組支援を実施



「ドローン」に乗せて山間部へ「薬」を届ける（八幡平市）

道路要望への対応状況

◆12年の活動で、念願の着手◆

【最新】

【笹ノ田トンネル】

「第1回 国道343号 笹ノ田地区 技術課題等検討協議会」

- 3月24日開催されました。 ※ 半歩 前進 です
- 内容は、現状と課題、今後の検討の進め方について



【前進】

【長島バイパス】(延長2キロ 事業費17億円)

- 基本ルートを設定し、路線測量、道路詳細設計を進めています。

測量のための杭

《 中央への要望 》 岩手県の多くの課題を説明し、中央に要望する



経済産業省 長峯 政務官



デジタル庁 大串 副大臣



デジタル庁 平塚 審議官



国土交通省 吉岡 技監



自民党本部 新藤 政調会長代行



市議と省庁へ



日本医師会 松本 会長



日本財団 福祉への支援を

ウィズ
WITHコロナ
地域活動、
経済、まわして
いきましょう!



藤沢野焼き祭 (R4夏)



くるくる踊り (R4夏)



公園の清掃活動

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。【連絡先】神崎浩之事務所 岩手県一関市銅谷町3-21 TEL:0191-31-6565

神崎浩之 プロフィール

Hiroyuki Kanzaki

岩手県議会議員 **神崎 浩之** (昭和36年4月16日生)

◆岩手県立一関第一高等学校 普通科卒業 ◆文教大学 人間科学部 人間科学科 卒業

◆一関市議会議員 (3期) ◆岩手県議会議員 (3期目) ◆自由民主党岩手県支部連合会 組織運動本部長

◆県議会 文教委員会 東日本大震災津波復興特別委員会 (副委員長) デジタル社会・DX推進調査特別委員会

<https://www.kanzakijimusho.com/> ブログ・フェイスブック・ツイッターにて情報発信中!!

皆様の声を!!

